

秋の環境学習（環境園芸だより 9 月号）



（株）Mui 清水潤子社長に
里山をご案内いただきました

“里山の保全と共生・活用” を考える（9/25）
“里山” 私たちの暮らしのすぐ近くに広がる美しい景色を思い浮かべます
里山の価値を見つめなおすため人と自然が共生するため里山を見学しました



（一財）古橋会古橋真人常務理事から、
稲武の養蚕をご紹介いただきました



・今日は学び事が多い一日でした。まず里山に行き、そこで暮らすことの大変さをしみじみ感じました。動物との戦い、自然の厳しさの中で女性の猟師として生活されている姿に感銘を受けました。また、古橋懐古館の古橋さんのお話から、先祖代々の家を受け継いでいくご苦労を強く感じました。とても貴重な一日でした。

・清水さんの環境保全事業の取り組み「人と自然との共生」、農作物被害を減らしたい思いから猟師になり活躍されていること、応援したいと思います。「まゆ」「風力発電」「シイタケの育て方」、稲武には魅力的なことや場所がたくさんあるので、ゆっくりと訪れたいと思いました。



・猟師の清水さんのお話が、とても面白かった。シカの足跡やチカラシバの生えているところなど、里山を見る視点が変わった。



・里山の現状、まゆっこクラブさんの活動、キノコ栽培が見れたり、とても内容が濃く盛沢山でした。面ノ木風力発電所に行けなくて残念でした。近くで見えたかった～。

昔、この奥に民家が三軒ありました



イノシシに畔を崩された水溜り



使われなくなった炭焼き小屋
「わくわく事業」第 1 号

・里山とは、自然と人間とが共生している場所で、見学することで里山を保全する必要性を身をもって感じる事ができた。稲武のまゆっこセンターで、稲武の絹糸が伊勢神宮と天皇とのかかわりあいがあることを初めて知りました。これも後世に残すべきものです。

・多くのことを学び、感銘を受けた一日でした。昨今、鳥獣被害が問題になっている里山、担い手がなくて放置された野山の現状を感じることができました。



・山里カフェ Mui オーナー清水潤子さんのお話がとても分かりやすく、里山の現状と維持保全活動の様子がよくわかりました。今は使われなくなった廃屋を地域の人たちと片付けてみえること、竹が一面に生えて大変な作業をされていると思います。旦那様が廃屋までの山道の草刈りをされたそうです。ありがとうございます。

・古橋家が、伊勢神宮の神御衣祭（かんみそさい）、熱田神宮の御衣祭（おんぞさい）に毎年生糸を奉納し続けて見えることを知り、大変感銘を受けました。

・市街地に住む私にとって里山は空気がきれいであり環境のように思えるが、山の管理や獣害を思うと大変なことだと感じた。シイタケの菌床栽培について初めて知り勉強になりました。



古橋懐古館で伝統を受け継いで
ゆく大切さ、難しさを伺いました



まゆの糸引き作業を
見ることができました



にぎたえしるく



まゆの花



（株）きのこの郷吉田陽介社長にシイタケの菌床栽培を見学させていただきました



湿度60%以上、室温 21℃の培養舎で、
100 日間培養します



いっぱいのシイタケ



培養舎から発生舎へ移動
菌床は 3 回発生操作します

豊田市稲武支所職員から、
稲武の地勢を解説いただきました



昼食をとりながら、
面ノ木風力発電所の説明を受ける



郷土資料館「ちゅ〜ま」の前で
稲武の名所の紹介を受ける



奥矢作第1発電所前で
揚水式ダムの特徴を勉強する